

## 1 目的

本校生徒が農業に対して興味・関心をより一層深め、職業としての意識を持ち携わる生徒を育成することに目的とし、生産から加工、販売までの流れを経験することで6次産業化への取組も進められる。地域の小学校や中学校での普及活動を行うことで、早い段階から農業に親しみ理解する子供達を増やしていき、本校への生徒募集にも繋げていきたい。

## 2 実施状況

### (1) 小学校への出前授業

2月26日に阿久根市田代小学校へ農業科学科2年生16名で出前授業を実施した。本校がこれまで取り組んだ研究や学習内容のプレゼンテーションをし、実演では、フラワーアレンジメントの製作を行った。また、環境学習の一環として阿久根市が取り組んでいる植物油の燃料化も取り入れ、ゴマやピーナツなどから油を絞る実験も行った。本校の生徒は慣れないながらも丁寧に小学生に手ほどきをしていた。



植物油を絞る説明

### (2) 先進農家視察

2月7日に農業科学科1年生、2年生が先進地視察を行い、熊本県八代市のトマト選果場といちご生産農家での研修を行った。いちご農家では高所栽培のハウスの中で、熟したばかりのいちごをたくさん試食させてもらい、栽培方法の説明を熱心に聞いていた。



先進農家視察

### (3) 販売実習

地域や県内、県外のイベントでの販売会に積極的に出店し、自校の商品をアピールして販売を行った。販売会を通して他者とのコミュニケーション能力が身についた。



販売実習

## 3 今後の課題、取組

農業を将来の職業として考える生徒は、なかなか増えてこない現状がある。農業の栽培・飼育を通して、食べ物を作る体験を早い段階からすることで、興味・関心を持つ子供が増え、いずれは就農に結びつくと考える。今後も小・中学校への出前授業を積極的に行いたい。